

感染症予防のために◆◆

3つの条件が重なることを回避する

- (1) 換気の悪い密閉空間
- (2) 多くの人々が密集
- (3) 近距離での会話や発生



① 朝の検温

毎朝家庭で体温を測ってから登校する。

37.5℃以上の発熱やかぜの症状が見られる場合は欠席し、休養をとる。

② マスクの着用

学校では人の密度を下げるには限界があり、近距離での会話や発声等は避けられないため、飛沫を飛ばさないよう、咳エチケットの要領で全員がマスクを着用する。

③ 登校後のアルコール消毒

登校後、昇降口に設置しているアルコールで手指消毒を行ってから教室に入る。

④ 手洗いの徹底

トイレの後や給食前など、石けんを使ってしっかり手を洗う。爪は短く切っておくこと。石けんで洗い終わったら、流水でしっかり流し清潔なハンカチ等で手をふく。

⑤ 換気を行う

常時、対角になる外側の窓と廊下の窓を開けておくのが望ましい。天候や気温により難しい場合は、少なくとも休み時間ごとに5分以上の換気を行う。

⑥ 給食に関すること

給食当番はもちろん、給食の前には全員がしっかり手洗いをを行う。

食事中は、飛沫を飛ばさないよう班の隊形にはしない。